

GOODS

リーバイス(Levi's)のジーンズを種類ごとに紹介！

BY GENTLEMAN DAISUKE

#ジーンズ #デニム #リーバイス

[お気に入り](#)

SHARE



リーバイスといえば誰もが知る王道デニムブランドだが、そのモデル展開やロット番号ごとの特徴まで把握している人は少ないのではないだろうか。種類ごとのシルエットなどを把握しておけば、より理想的なリーバイスのジーンズに出会えるはず。今回はリーバイスのジーンズにフォーカスし、現在購入可能な種類ごとに魅力を紹介！

[スポンサーリンク](#)

ジーンズの生みの親「リーバイス(Levi's)」とは

リーバイスは、1853年にリーヴァイ・ストラウス(Levi Strauss)が創業したメーカー。ゴールドラッシュに湧くアメリカにドイツからの移民としてやってきたリーヴァイ・ストラウスは、金鉱で働く人々からのニーズに応

えるかたちで、ジーンズの前身となるワークパンツを製造した。元々はキャンバス生地を用いたものを販売していたが、その後デニムへと素材を変更。世界初のジーンズを完成させた。ジーンズ誕生のきっかけは「厳しい作業環境でも破れないパンツを」という労働者の声から。この要望に応えるため、リベットでポケットを補強するという仕立屋のヤコブ・デイビス(Jacob Davis)のアイデアを採用。さらに虫除けやへび除けといった効能(のちにそのような効能が無いことが解明された)を得るため、インディゴに染め上げた。これら現在にまで続くジーンズの仕様を最初期から完成させていたのである。



[リーバイスのジーンズを探す](#)

1890年には、初のロット番号である「501」が付与されたジーンズが誕生。現在の501と共通点も多いが、この時代にはまだベルトループはなく、代わりにストラップやバックル、サスペンダー用のボタンなどが備えられていた。501は1950年代中頃までアメリカ西部でしか販売されていなかったが、その実用性が認知され東海岸にも販路を拡大していく。時代の流れとともにシルエットなどに調整が加えられ、続々と新たなロット番号が誕生した。労働者のために生まれたジーンズはその枠を超え、やがてファッションアイテムのひとつに。現在ではさまざまなメーカーがジーンズを製造しているが、そのディテールの原点は他にもないリーバイス。ジーンズの生みの親として、今なお完成度の高い製品を生み出し続けている。



[リーバイスのジーンズを探す](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

2/9

リーバイスジーンズの注目すべき3つの魅力

リーバイスジーンズの魅力①「完成度の高いポケットの仕様」

ジーンズにおけるさまざまな原点を生み出したリーバイスだが、そのなかでも代表的なのがポケットの仕様。特に画期的な発明と言われるポケットを補強するための「リベット」は、1873年の時点で特許が取得され、すでに実際の製品に採用されていた。両サイドのポケットとコインポケット、2つのヒップポケットからなる「5ポケット」の仕様もリーバイスが発明したもの。ちなみにコインポケットは元々は懐中時計を入れるためのものだったが、腕時計が一般的になるとコインやZippoのライターを入れるポケットとして使われるようになった。



[リーバイスのジーンズを探す](#)

また、1973年から採用されたヒップポケットの弓型ステッチ「アーキュエイトステッチ」もリーバイスを象徴するディテールだ。



[リーバイスのジーンズを探す](#)

リーバイスジーンズの魅力②「モデルによって異なるフロント開口部」

ボタンフライによるフロント開口部も、リーバイスが生み出したディテール。現在ではほとんどの一般的なジーンズでジッパーフライが採用されているが、501が誕生した当時はまだジップフライが発明されていなかった。ジップフライ登場後はリーバイスのジーンズもほとんどのモデルでジップフライを採用しているが、501では変わらずボタンフライを採用。当然ながら実用面では劣るものの、クラシックな仕様であることと、ボタンと生地が擦れることでボタンの形に色落ちするという特性から現在でも高い人気を誇る。ボタンフライモデルを選ぶのかジップフライモデルを選ぶのかも、一つの指標と言えるだろう。



[リーバイスのジーンズを探す](#)

リーバイスジーンズの魅力③「耐久性を象徴する背部のパッチ」

品質の保証を表わす、ジーンズの背面に縫われているパッチ。このパッチは「ツーホースパッチ」と呼ばれており、描かれた2頭の馬のイラストは“両サイドから馬で引っ張っても破れないほど丈夫である”ということを表現している。リーバイスではモデルによって紙パッチやレザーパッチを使用。それぞれ異なった独特の経年変化が楽しめる。



[リーバイスのジーンズを探す](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

3/9

リーバイスの種類ごとの特徴をチェック！

「501」に代表されるように、リーバイスのデニムはロット番号によって分けられている。「511」なら細めで「502」ならストレートといったように、ロット番号ごとにシルエットが異なる(代表モデルの「501」に関してはスキニーモデルやジョガーモデルなどさまざまなスタイルが展開されている)。以下の表は、主要なロット番号をシルエット別でまとめたもの。

ロット番号	シルエット
501 / 505	ストレート(まっすぐに落ちるクラシックなシルエット)

510 / 501 SKINNY	スキニー(ヒップから裾回りにかけて最もスリム)
511 / 513	スリム(ストレートとスキニーの間)
512 / 502 / 541	テーパード(裾回りにかけて細くなる)
517 など	ブーツカット(膝から裾回りにかけてワイド)
562 / 592	リラクスト(最もゆとりのあるシルエット)

[リーバイスのジーンズを探す](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

4/9

リーバイスのデニムを種類(ロット番号)ごとに紹介

「501」

リーバイス 永遠の定番「Levi's(リーバイス) 501 Original Jeans」

ヒップから裾にかけてストレートにフィットする1本。素材に使用している糊付き生デニムは、洗濯をして生地を通すことでぎゅっと目が詰まるのが特徴で、これによりウエストとレングスが縮み、穿く人の体型になじんでいく。これはShrink-To-Fit(シュリンクトゥフィット)と呼ばれる仕様で、穿いて洗ってを繰り返すことでフィット感が増していくとともに、色落ちやアタリが出てくるのも魅力。ヒップポケットのアーキュエイトステッチや赤タブなど、さまざまな伝統ディテールも501が支持される理由だ。アメリカンカルチャーのアイコンであり、あらゆる世代から定番として愛されるリーバイスの代表作。



[詳細・購入はこちら](#)

幅広いコーディネートに対応する美脚シルエット「Levi's(リーバイス) 501 SKINNY」

裾にかけて細身で、すっきりとしたシルエットが特徴。ほどよい太さと生地感で、履いていくうちに馴染んでくるようデザインされている。バックウエストには、アイコン的なレザーパッチ付き。スキニー特有の窮屈感はなく、さまざまなコーディネートにも取り入れやすい。丈が短めなので、ハイカットのスニーカーやブーツとも好相性◎



[詳細・購入はこちら](#)

90年代を感じさせるストレートデニム「Levi's(リーバイス) 501 '93 レギュラーストレート」

1993年当時の501を復刻させたモデル。リーバイスにとって1993年は大きな転換期で、アメリカの501とヨーロッパの501、2つのスタイルが存在していた。シルエット、バックポケットのサイズ、ポジショニングなど、93年に2つのスタイルを統合。世界統一のグローバル501が誕生し、その後2004年モデルが登場するまでの10年間、世界中のマーケットで販売されていた。現代の501に比べると腰回りやワタリにゆとりがあり、足元まですとんと落ちるテーパードのないストレートフィット。生地はストレッチ素材を採用し、90年代を感じられるウォッシュ加工で仕上げられている。



[詳細・購入はこちら](#)

王道モデルをジョガーパンツへとアップデート「Levi's(リーバイス) 501 JOGGER」

ストレートフィットの501を、ジョガーとして生まれ変わらせたデニム。スリムなシルエットながら裾のゴム仕様やドロークコードなど、ストレスを感じることなく履けるエフォートレスなモデルだ。リーバイスのアイテムの中でも独特の個性を発揮できる1本。



[詳細・購入はこちら](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

5/9

「502」

モダンでカジュアルなルックスを実現したテーパードカット「Levi's(リーバイス) 502 レギュラーテーパード」

138年の長い歴史の中で受け継がれてきたクラフツマンシップあふれるディテールと、モダンで美しいシルエットを併せ持ったクラシックシリーズの502。ゆったりめの太ももから足首にかけて細くなるテーパードカットで、着回しがきく1本に仕上がっている。



[詳細・購入はこちら](#)

「505」

体型を問わず快適に履ける1本「Levi's(リーバイス) 505 レギュラーストレート」

1967年に初めて作られた505は、元祖ジップフライジーンズ。ヒップと太ももがゆったりとしたフィット感で、快適な着心地が特徴だ。時代に左右されないストレートカットタイプで、どんなスタイルにも合わせやすい。



[詳細・購入はこちら](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

6/9

「510」

伸縮性のあるストレッチ素材を採用した極細デニム「Levi's(リーバイス) 510 スキニーフィット」

510は今風のカットを施し、さらなる動きやすさを考慮してほど良い伸縮性のストレッチ生地を採用しているのが特徴。わずかに股上を下げ、裾回りを細くしているため、よりスリムですっきりとしたテーパードスキニーシルエットに仕上がっている。数あるリーバイスジーンズのなかでも特に細身のフィット。



[詳細・購入はこちら](#)

「511」

バランスの取れた造形で美しさと快適な着用感を両立「Levi's(リーバイス) 511 スリムフィット」

スキニーとストレートの間位置するフィッティングで、スリムで美しいシルエットを保ちながらも窮屈さを感じさせない1本。太ももから裾周りにかけて細く、長くすっきりしたラインを演出する。



[詳細・購入はこちら](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

7/9

「512」

内側にねじれたサイドシームが特徴的「Levi's(リーバイス) 512 スリムテーパード」

靴とのバランスを美しく見せるスリムテーパードシルエットが魅力。リーバイスのなかでも極めて細いシルエットのシリーズで、裾の中心にくるほど大きくねじれたシームのデザインは、シルエット全体をさらに細く見せる。



[詳細・購入はこちら](#)

「513」

タイト過ぎず動きやすいフィット感が魅力「Levi's(リーバイス) 513 スリム ストレート」

タイト過ぎない着用感ながら、スリムに見える万能なフィッティングを実現。ヒップから裾周りにかけてストレートなシルエットで、やや筋肉質なアスリート体型の足にも合いやすい。



[詳細・購入はこちら](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

8/9

「517」

ブーツの上に履くオーソドックスなジーンズ「Levi's(リーバイス) 517 ブーツカット」

カウボーイ用のジーンズとして開発されたことがルーツのモデル。70年代スタイルの王道として多くのファンに支持されている。股上が深めで膝部分は細めの設定。文字通りブーツを履いたときに美しいシルエットになるようデザインされている。



[詳細・購入はこちら](#)

「541」

ゆったりしたシルエットでラクに履ける「Levi's(リーバイス) 541 アスレチックテーパード」

541 アスレチックテーパードは、太ももにボリュームがあるアスリート体型でも快適に着用できるシルエットが特徴。一般体型の場合でも、太もも部分にボリュームを持たせたゆったりシルエットが楽しめる。ゆとりのある太もも周りに加えて股下のガセット、膝下のテーパードによって快適性と洗練された印象を演出。



[詳細・購入はこちら](#)

[GO TO NEXT PAGE](#)

9/9

「550」**ほどよいテーパードでバランスの取れたシルエットに「Levi's(リーバイス) 550 リラックスフィット」**

1985年に登場した人気シリーズ。501よりもゆとりのあるリラックスしたフィットだ。裾に向かって細くなるややテーパード気味のシルエットで、リラックスしながらもすっきりしたスマートなスタイルが魅力。ウエストのすぐ下で履ける、ジッパーフライとローライズ仕様でブーツとも抜群の相性を発揮する。



[詳細・購入はこちら](#)

「562」**ブランド随一のルーズシルエットでゆったり履ける「Levi's(リーバイス) 562 ルーズテーパード」**

リーバイスのなかでも極めてリラックスフィットのパンツ。足首に向かって細くなるテーパードで、ゆったりとしたバギー룩を演出する。



[詳細・購入はこちら](#)